
涙

ユリ ナ・レシモーレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涙

【Nコード】

N3503Z

【作者名】

ユリ ナ・レシモーレ

【あらすじ】

私は、あなたに恋をしてから、何倍も何十倍も泣き虫になりました。私の気持ちに気づいてくれましたか？

(前書き)

久しぶりの投稿です！

良かったら、読んで頂きたいと思います。

これまで、いくつもの場面で流した涙。

嬉しい涙。

悲しい涙。

苦しい涙。

辛い涙。

悔しい涙。

いとおいしい涙。

幸せな涙。

全部…、全部、私が流した涙の数。

本当に些細なことでも、泣いていた。

でも、あなたのことを想って流した涙が一番多いと思う。

告白されて、付き合ってから、今に至るまで…。

私はあなたに何度泣かされたことでしょうか…？

あなたの気持ちがわからなくて。
すれ違う気持ちに耐えられなくて。

普通にメールしていても、現実では泣いていた。

画面越しなら、泣いてるなんてわからないから。

わからないから、何度だって何回だって泣ける。

あなたに迷惑かけたくないから、出来るだけ見えない画面越しで泣いていたの。

あなたは、私の気持ちに気づいてくれましたか？

あなたのメール、あなたの言葉に喜怒哀楽してしまう、私の気持ちに気づいてくれましたか？

終わりの見えない恋など、直ぐにやめてしまいたかった。

あなたと付き合って、私は何倍も何十倍も泣き虫になってしまったから。

でも、あなたの優しい言動がどうしても脳裏に焼きついていて、どうしても、手放せなかった。

あなたのために流した…あなたに泣かされた涙の数が、私のあなたへの愛の数だと知ったから。

中々、泣き虫は直らないけど…。

あなたの側に、もっともっと居たいから…。

もう少しだけ、泣き虫のままですませてね。

本当に、私達に幸せが訪れた時は、最後にたーくさん泣いて、しばらくは涙とお別れするから。

それまでかどうか、泣いても許してね…？

(後書き)

ありがとうございました！

次回も、どうぞよろしくお願いいたします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3503z/>

涙

2011年12月11日23時53分発行